

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-99952

(P2000-99952A)

(43)公開日 平成12年4月7日(2000.4.7)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード*(参考)
G 1 1 B	7/007	G 1 1 B	5 D 0 2 9
	7/09		C 5 D 0 9 0
	7/24	5 6 3	5 6 3 E 5 D 1 1 8
		5 6 5	5 6 5 F

審査請求 有 請求項の数15 O L (全 18 頁)

(21)出願番号 特願平10-262794

(22)出願日 平成10年9月17日(1998.9.17)

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 岩永 敏明

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社社内

(74)代理人 100081433

弁理士 鈴木 章夫

Fターム(参考) 5D029 JB11 JB33 JC02 WA07 WA30

5D090 AA01 BB04 CC01 CC04 CC14

DD03 DD05 FF03 FF11 FF15

GG10 GG11 HH01 JJ03

5D118 AA16 BA01 BB02 BF02 BF03

(54)【発明の名称】 光ディスク及び光ディスク装置

(57)【要約】

【課題】 ランド／グループ記録を用いる光ディスクの効率的なプリフォーマット形態と、このプリフォーマットされた光ディスクを含む光ディスクへの記録再生を可能とした光ディスク装置を提供する。

【構成】 隣接するランド領域Landとグループ領域Grooveとの境界部に形成され、ヘッダ領域に配置されるアドレス情報を含むプリビット領域10、11を1境界部おきに配置し、かつ、隣接する当該プリビット領域内の特定の情報同士が光ディスクの半径方向に整列しないように、両プリビット領域10、11を光ディスクの周方向にずらす構成とする。プリビット領域に対して光ビームを走査した際に、隣接するプリビット領域からのクロストークの影響を抑制でき、光ビームでのデフォーカスが発生しても、プリビット領域のアドレス情報の読み誤りを大幅に低減できる。

